

「住んでよかった」と実感できるとまちに



豊岡市長 関貫久仁郎

年 あいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年は、地域の明るいニュースが増えた年でした。徐々にはありますが、お祭りやイベントが再開されてきました。4月の第10回菓子祭前日祭、11月の第50回出石お城まつりなどが、3年ぶりに開催されました。それぞれの地域で久しぶりに、親戚の方々と、あるいは友人たちと集まって、大いに楽しまれたことと思います。

さて昨年、市は「DX（デジタル・トランスフォーメーション）元年」と位置付け、DX推進部を設置し、市役所DXの取り組みを開始しました。3月にはコンビニ交付サービス、5月にはごみの出し方を簡単に調べることができるチャット型の検索サービス「ごみサク」を始めました。9月からは結婚、出生、転入・転出などの手続きがスマートフォン等で分かる「くらしの手続きガイド」の運用を始め、11月には放課後児童クラブのオンライン申請の受付も始めました。また8月には、（一財）トヨタ・モビリティ基金などにご協力いただき、交通事故が起りやすい場所をデジタル技術で見える化する交通安全教室を始めました。情報発信のデジタル化も推進し、1月には豊岡市広報公式ツイッター、9月には豊岡市LINE公式アカウントを開設し、積極的な情報発信ができるようになりました。今後もDXを推進し、市民の方々が便利にそして快適に暮らしていただけるよう継続して取り組んでいきたいと思っております。

一方、昨年は、新型コロナウイルス感染症第6波、第7波に加え、物価高騰による生活への影響もありました。このような情勢の中で、私の公約であった子ども医療費の無料化について、0～3歳児の外来診療の一部負担金を7月から無料にしました。また、高校生以下の子どもを養育する方に子ども1人当たり2万円、低所得の子育て世帯への児童1人当たり5万円の給付、物価高騰対策のための諸支援を実施し、市民の方々の生活を下支えするための事業も実施してきました。

現在、第8波が懸念され、まだまだ油断できない状況が続いており、市民の方々も依然として不安な毎日をお過ごしのことと思います。昨年末からオミクロン株対応のワクチン接種を進めています。今年もしっかりと感染症対策を行っていただき、健康にご留意いただきますようお願い申し上げます。

私は、今年一年間「市民の誰ひとりとして取り残さない」という心意気で、市政推進に努めていきたいと思っております。組織改編や大小の業務改善を一つずつ積み重ね、少しでも多くの市民の方々に「このまちに住んでよかった」と実感していただけるように取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、市民の皆様お一人おひとりが平穏無事で健やかに過ごされる、よい年でありますことを、心よりお祈り申し上げます。

新 年頭のご



豊岡市議会議長 福田嗣久

元気な将来に向かって

新しい年を迎えお祝い申し上げます。
猛威を振るう新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により国際情勢は不安定で閉塞感のある状態です。

そこへ円安の急激な進展も加わり資源高、物価高など市民生活に大きな影響を及ぼし、なかなか先の見通せない状況が続いています。

新しい市長が誕生して二年目、新しい議員が誕生して一年が経過しましたが、しっかりとした国づくり、まちづくりを進めるためには、大きな力と智慧が必要であるとつくづく感じています。

最も重要な課題は、人口減少問題です。その大きな原因は少子化で、国が衰える一番の要因であります。

次に重要な課題は、地域経済の弱さです。原油高などの資源高に円安の急激な進展も加わり、全般的で急激なインフレに襲われ、大変厳しい経済状況にあります。私たちのまち特有の産業構造である小規模な事業者が多い、下請け的な事業も多い、人口減少で大きく影響を受ける商店も多いという環境下においては、なかなか地域経済が浮上できません。

農業、林業、水産業も同様であり、人口減少が大きく影響し、後継者問題や耕作放棄田、放棄林野問題、すべてに影響が及んでいます。

このように大変難しく、解決しづらい課題が横たわる中で、市政推進、議会運営となってい

ます。

市民の皆様お一人おひとり、市長をはじめとする市当局、私たち議会、三位一体となった知恵と力が必要と強く感じています。三人寄れば文殊の知恵と申します。三者の知恵と力の総力で住みやすい町、地域を一步ずつ一歩ずつ積み上げ、そして生活の基盤である経済についても一企業一企業ずつ一商店一商店で付加価値を積み上げる、また、農林水産業も食料安全保障の観点から食料自給を推進し、自給自足を高め上手に国土を守っていく必要があります。

住んでよしという地方を創るためには、公共も民間も一人ひとりの知恵と努力と力を集結しなければ成し得ないと強く感じています。

市政推進は全市民の下支え役です。しっかりと下支えに徹し、元気な将来を目指して一歩ずつ歩みを進めたく決意を新たにしております。加えて議会は当局のお目付け役でもあります。しっかりとチェック機能を果たしながら、まちの進むべき方向も的確に指摘していきたいと考えています。

市民の皆様、一緒になって新しい輝かしい年になるように進んで参りましょう。

皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

〔写真：来日岳から見るご来光〕